

羅臼湖についての検討状況

1. 羅臼湖個別会合の開催

11月17日 第1回開催予定

2. その他の調査検討

1) 羅臼町・知床世界自然遺産協議会

- ・羅臼湖の適正利用に関する専門部会等において、羅臼湖の利用のあり方について検討を行っている。

2) 知床国立公園羅臼湖線歩道植生保全に向けた検討調査業務（環境省）

・法的な諸条件の整理

当該地における権利制限関係及び関連法制度を調査。羅臼湖歩道の整備のあり方、羅臼湖歩道へのアクセス方法のあり方等を検討するうえで把握すべき諸条件を整理する。

・現地調査

羅臼湖線歩道全線について、有識者からの助言を得ながら現地調査を実施し、洗掘、泥濘化等、植生保全上の問題点が生じている箇所を抽出する。

8月6日 現地にて、北海学園大学佐藤教授からヒアリングを実施。

・植生保全対策等検討

現地調査で抽出した問題箇所について、植生保全対策の優先度を判定。有効な植生保全・復元手法を検討するとともに、歩道の付け替えが有効な手法と考えられる箇所について、付け替えルートの線形概要を検討する。

3) 知床国立公園適正利用等検討調査業務（環境省）

・利用者対象アンケート調査

羅臼湖歩道利用者の利用動態、属性、路線バスやガイドツアーに対する意向などについて、アンケート調査を行い、整理する。

・利用状況調査

平成16年から平成22年までの入林簿、入山カウンターのデータを集計し、羅臼湖歩道の利用状況（利用人数、利用者層、1グループあたりの人数、利用時間帯等）を整理する。

3. 行政関係機関による羅臼湖の取扱いに係る検討

- ・環境省・林野庁・北海道・羅臼町の事務担当者レベルによる検討を4月、6月、8月、10月に実施（4月については釧路開発建設部中標津道路事務所も参加）。
- ・上記2.2)に関連し、環境省・林野庁・北海道の行政関係者も加わり9月下旬から10月上旬に現地調査を実施。